

奄美瀬戸内町にて、ドローンが飛び交う未来社会を考える ワークショップを開催しました。

～産官学連携し、島の小中学生と「空飛ぶ〇〇のあるミライ」を共創～

日本航空株式会社(以下、JAL)と日本エアコミューター株式会社(以下、JAC)は、鹿児島大島郡瀬戸内町(町長:鎌田愛人、以下「瀬戸内町」とドローンを活用した地域課題解決を目指す連携協定を締結のうえ、2023年度のドローン社会実装に向けて、検討・準備を進めています(*1)。

今般、その取り組みの一環として、瀬戸内町、筑波大学を代表機関とする「フェーズフリーな超しなやか社会」を実現する5D-MaaS共創拠点(以下「5D-MaaS共創拠点」)(*2)とJAL/JACは産官学で連携し、与路島・請島の小中学生をはじめとした島民の皆様と「ドローンが飛び交う未来社会を考えるワークショップ」を開催しました。



【ワークショップ概要】

1. 実施日: 2023年6月25日(日)
2. 実施場所:
午前: 瀬戸内町立池地小中学校(請島)、
午後: 瀬戸内町立与路小中学校(与路島)
3. 実施内容
 - ・5D-MaaS 共創拠点による「空飛ぶ〇〇のあるミライを共創しよう」
 - ・瀬戸内町によるドローンデモフライト・操縦体験、空撮体験
 - ・瀬戸内町とJALグループが進めるドローン活用の取り組み説明

ワークショップでは、子供たちや地域の方々の柔軟で豊かな発想をもとに、最先端の生成AIも活用しながら「ドローンが飛び交う未来社会」を共に描くと同時に、ドローンのデモフライトや操縦体験を通じて、可能性への理解を深める機会となりました。

JALグループは今後も地域と連携し、課題解決や人材育成に努めてまいります。

(*1)2022年11月17日 プレスリリース 島の暮らしを支えるドローンの社会実装モデルを検証しました～奄美 瀬戸内町での2023年度実装・事業化に向けて着実に歩みを進めています～ URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202211/007050.html>

(*2)5D-MaaS共創拠点 URL: <https://5d-maas.jp/>